



1 ● 水上バス(大川)

水の都・大阪の資源をつなぐ水上交通



2 ● 渡船(木津川)

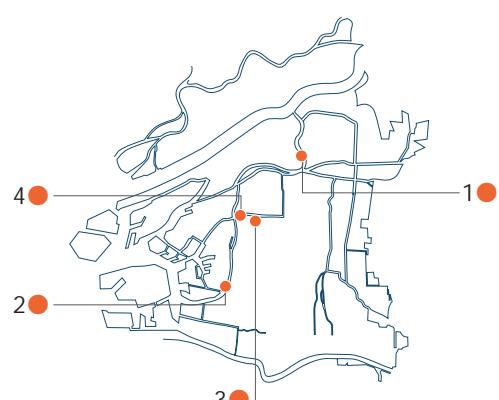


3 ● クルーズ船(道頓堀川:湊町リバーブレイス)

水上交通

都心部を縦横に流れる大阪の川は、近世より交通機関として利用されてきました。江戸時代に天下の台所と呼ばれた大阪の産業発展には、この河川網がなくてはならないものでした。

近代に入り、舟運を中心とした交通は衰退しましたが、現代では水上バスやクルーズ船などの観光船や市民の足である渡船などが市内を巡り、これらの船からは違ったまちの風景を見ることができます。



川の生物と水質

川の生物

■汚濁に強い指標種



● キンブナ

【出現地点】淀川上流、寝屋川、第二寝屋川、大川、安治川上流、道頓堀川、大和川

■比較的清浄な河川水質の指標種



● シロヒレタビラ

【出現地点】神崎川上流、淀川上流



● クロダイ

【出現地点】淀川下流、木津川河口



● ボラ

【出現地点】神崎川、淀川下流、堂島川、安治川、土佐堀川、道頓堀川、尻無川、木津川、大和川



● コウライモロコ

【出現地点】神崎川上流、淀川上流、大川、道頓堀川



● ハス

【出現地点】神崎川上流、淀川上流、大川、堂島川、土佐堀川、道頓堀川

水をきれいにする川の仕事（水質浄化対策）

市内河川では様々な取り組みにより、水質の向上に努めています。



■ 水面清掃の様子



■ 河川パトロール「ますみ」



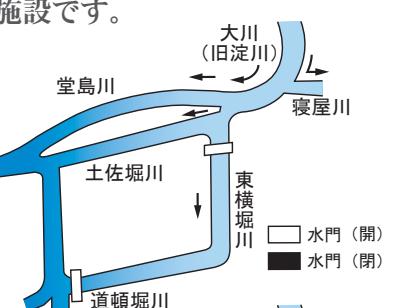
■ 浚渫（しゅんせつ）の様子

水門操作による河川浄化

水門は浄化にも効果的な施設です。

■満潮時前後

- 水位が最も上昇する満潮時に、各河川の水門を開ける。
- 満潮時は道頓堀川・東横堀川水位が高いので、寝屋川から汚水の流入はない。
- 各河川に大川（旧淀川）の浄化用水を滞留させる。



■引き潮時

- 引き潮にかかる時に、両水門を閉め、寝屋川からの汚水の流入を阻止する。
- 東横堀川・道頓堀川に清浄な水を貯留し、水位を一定に保つ。
- 貯留水は適時、入れ替えを行う。

4 ● 道頓堀川水門



色々な魚の姿を見られるようになりました。